



1 学年通信

今ココ = 丁寧生きる

担当：杉浦俊樹

◆◇ 1 学期を振り返って ◇◇

高校に入学して3ヶ月が経ち、新しい環境にも少しずつ慣れてきた頃でしょうか。1学期期末試験も無事に終わり、高校生活初めての夏休みも目前です。長期休みは普段できないことに挑戦する絶好のチャンスです。オープンキャンパスへの参加，ボランティア活動，学習や資格取得など有意義な計画を立ててみましょう。もちろん，心と体を休める時間も大切にしてください。

さて，今月の学年通信では「丁寧生きる」ことについて触れてみたいと思います。私自身，日々の生活の中で丁寧に生きる人を見ると，年齢に関わらず尊敬の念を抱きますし，自分もそうありたいと憧れます。丁寧に生きるとはどういうことか，説明するのは難しいですが，個人的にはその基礎に **整理整頓** があるのかなと考えています。丁寧に生きる人は物を大切に扱い，身の周りが整然としているイメージがあるからです。



◆◇ 道具を大切に扱っていますか？ ◇◇

唐突ですが，私は神様にも仏様にも祈りますし，クリスマスをお祝いした1週間後には初詣にも行きます。節操がないと言われればその通りですが，そのような方は少なくないのではないのでしょうか。日本人の宗教観は多様であり，神道や仏教が深く根付いている一方で，無宗教と見なされることも多いです。ただ，日本には古来より「八百万（やおよろず）の神」として，山，川，海，木，石，さらには太陽や学問，商売など，ありとあらゆるものに神が宿るという考え方がありました。

この八百万の神々の中に，「付喪神・九十九神（つくもがみ）」がいます。付喪神は，古い道具が妖怪になったものです。道具は長く使われるうちに魂がこもるという考え方が日本にはあり，付喪神は，道具を大切に使う人には親切にし，道具を粗末にする人には仕返しをしたと言われています。

ここで付喪神のひとつ「箒神（ほうきがみ）」のお話を紹介します。箒神は，もともとは掃除道具のほうきです。ほうきを大事に使っていると，赤ちゃんが生まれる際に箒神が助けてくれたという逸



図：箒神

話があります。昔は、家で出産をしていたため、産む部屋にほうきを逆さにして立てておくことで、母親は苦しまずに赤ちゃんを産むことができたそうです。反対に、ほうきを踏みだり、踏んだりしていると悪いことが起こるとも言われていました。神や逸話を信じるかどうかはさておき、物を大切に扱おうとする考えは素敵だと思います。

「ひとつ拾えば、ひとつだけきれいになる」

この言葉はイエローハット創業者である鍵山秀三郎氏の言葉です。鍵山氏は「日本を美しくする会」の創設にも関わり「掃除の神様」とも呼ばれました。鍵山氏は他にも、「足元のゴミひとつ拾えぬ人間に何ができれば」など、多くの格言を残されています。

私が高校を卒業する際、担任の先生がクラスの生徒に向けて、「ゴミを拾う人間になればいいから、ゴミをポイ捨てする人間になるな」と語られたことを今でもよく覚えています。鍵山氏の格言に対し、ずいぶん志が低いように感じるかもしれません。しかし、一人ひとりがそれを実践できれば世界が汚れることはないよなと考えつつ、拾える時はゴミを拾おうと考えた18歳の春でした。

集団生活の中ではお互い気持ちよく生活するために配慮を求められることもあります。大仰に考えず、まずは身の回りの整理整頓から始めてみてはいかがでしょうか。

☆7月（文月）の行事予定・月訓『努力』

1	火		16	水	保健講話（3・4限）
2	水		17	木	
3	木		18	金	1学期終業式 キッチンカー
4	金	普通科ベネッセ総合学力テスト（終日）	19	土	夏 休 み
5	土	受験対策講座	20	日	
6	日		21	月	
7	月	短縮 40 分授業×4 限（～7/17(木) 保護者懇談会期間（～8/8(金)）	22	火	
			23	水	
8	火		24	木	
9	水		25	金	
10	木		26	土	
11	金		27	日	
12	土	受験対策講座	28	月	
13	日	第 1 回 実用英語技能検定（二次）	29	火	
14	月	いじめ防止講話（1 限）	30	水	
15	火		31	木	

